

独自の
3つの
コース

特進 コース

早稲田・慶應義塾・上智・東京理科大学などの最難関大学と国立大学を進路目標とし、進路実現を支える特色ある教育課程を編成しています。

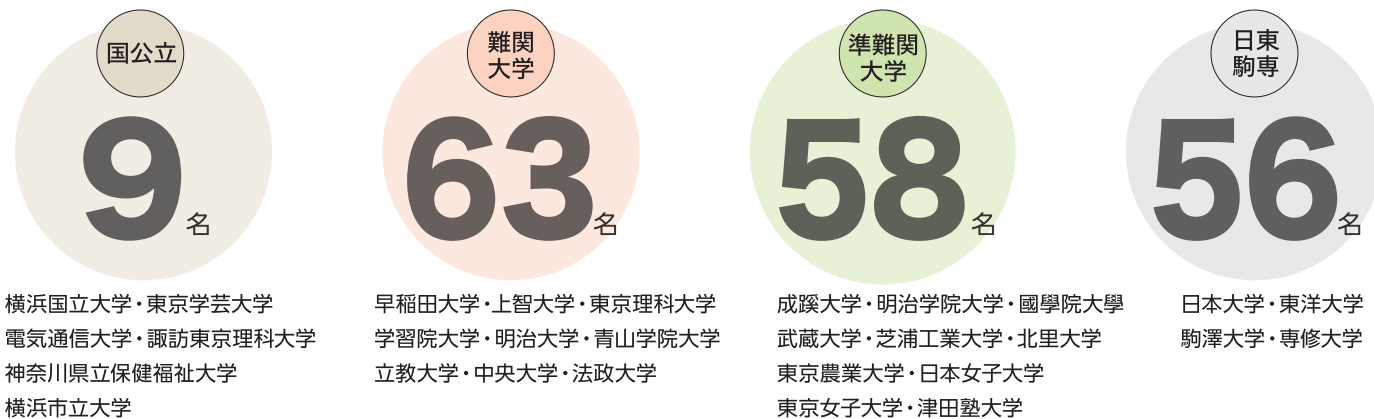
文理 コース

GMARCH (学習院・明治・青山学院・立教・中央・法政大学) や準難関 (成蹊・成城・明治学院・國學院・芝浦工業大学等) を進路目標としています。

普通 コース

日本・東洋・駒澤・専修大学等の中堅大学への進学や、その他多様な進路目標の実現を目指しています。

卒業生進路状況 現役生368名



志望校を絞って効率良く!

GMARCHプロジェクト 56名合格

GMARCHを中心とした生徒向け大学入試説明会実施の他、各大学を文系・理系に分けて15講座を設け、大学入試の傾向と対策を提供します。

朝の50分授業で差をつける!

0時限講座 年間100時間実施



本講座は2・3年生の希望者を対象とした、本校教員による早朝の大学入試対策講座です。「朝なら部活がないので、先生、お願いします!」。開講のきっかけは、わずか2・3名の生徒たちからのこうした要望でした。それが、昨年度は2・3年生でのべ1929名の受講者を誇るまでに発展し、英語・数学・国語・理科・社会の5教科15講座での開講を実現しました。希望進路の実現に向けて、創英生は今日も朝から本気です。

日頃の学習を積み上げる!

SOEI NOTE 年間365

SOEI NOTEは、創英生が「自分のことを自分で正確に把握するため」に作られた手帳で、2・3年生全員に配付されます。月間予定には本校の行事や定期試験の予定がすでに記載され、日ごと、週ごとの自学計画や学習時間を記入する欄があります。創英生が主体的に学習する習慣を身につけるための様々な工夫が詰まった手帳です。



●担任が定期的に回収し、クラスの生徒の学習状況を把握します。生徒からは、先生からのコメントが励みになるという声もあります。

新しい学び舎で、自ら学ぶ力を!

横浜創英中学・高等学校では学びの環境をさらに創造的なものにするため校舎・グラウンド等を改築中です。



1号館（新校舎）完成!

●グラウンド拡張進行中 (2021年度 使用開始)

UNIFORM ●制服紹介



エンブレムがポイントのネイビーブルーのブレザーに、男子はグレンチェックのスラックスにネクタイ、女子はグレンチェックのスカートにリボンの組み合わせです。

INFORMATION

●説明会の詳細・ご予約方法、その他のイベントについては、本校ホームページをご覧ください。また、説明会が延期・中止となる可能性があります。その際は、本校ホームページに情報を掲載します。

2020年度から大学入試が大きく変わる 高大接続改革

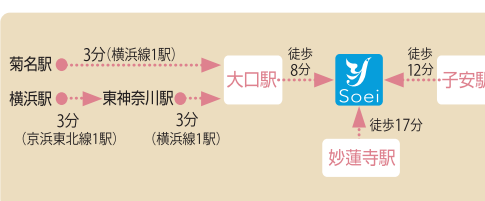
本校での具体的な取り組み

- ①「大学入学共通テスト（新テスト）」に対応した授業を展開し、定期試験に思考力・判断力・表現力の伸長を図る問題を多く取り入れています。
- ② 2019年度から英語の4技能の育成をはかるため、実用英語技能検定（民間資格）試験の全員受験を実施しています。
- ③ 特別活動（委員会活動・部活動・ボランティア活動）の記録としてパソコンやスマートフォン等で自分の活動記録を蓄積します。



ACCESS & INFORMATION

主要駅からの乗車時間 ※電車接続により多少時間が異なります。



横浜創英高等学校
Yokohama Soei Senior High School

〒221-0004 神奈川県横浜市神奈川区西大町28番地 Tel: 045-421-3121 / Fax: 045-421-3125
https://www.soei.ed.jp



Yokohama
SOEI Senior High School
80th ANNIVERSARY

横浜創英高等学校

創英生は
全員主役

●建学の精神 「考えて行動のできる人」の育成

自律する力がますます必要となる時代へ

新校長挨拶

現在、科学技術の進展は私たちの予想を遥かに超えたスピードで進んでいます。それに伴い、世の中では新たな仕事やサービスが次々と生まれ、私たちの生活も大きく変化しています。特に機械の自動化に取って代わられる職業は多岐にわたっており、つい最近生まれたばかりの人気の職業でさえも、新たなサービスの出現によりあっという間に消え去ったりするようなことも起きています。生徒の皆さんが活躍する社会では、一つの仕事に就いて定年退職までというようなことができる人は、ほぼありえないことかもしれません。

このような変化の激しい社会を生きていくためには、今まで以上に「自分で考え、判断し、決定し、行動できる力」(自律の力)を身に付けることが大切です。

指示されたことを適切にやり遂げることでできる力は確かに大切な力の一つではありますが、指示されることに慣れてしまっはいけません。慣れ過ぎていくと、人は次第に指示をされないと動けない人間に変わってしまいます。そして、指示の内容や与えてもらうサービスに不満ばかり言うようになっていきます。遂には自分が上手くないことがあると、その理由を常に人のせいばかりにしてしまうような人間になってしまいます。

本校には時代を見据えた新たなカリキュラムや行事、個性豊かな部活動など、さまざまな学びの場があります。生徒たちには、身近な学校生活の中に自分なりのチャレンジする機会をしっかりと見出し、挑戦し、たくさんの失敗を繰り返しながら、自分の足で歩むことのできるたくましい人に成長してほしいと思います。



校長 工藤 勇一

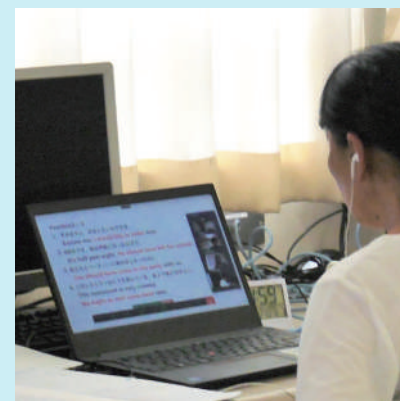
オンライン授業で自律した学習姿勢を育てる

今年度 教育活動の取り組み

4月にCOVID-19による緊急事態宣言が出されてから、本校では生徒一人一人の健康と安全を考え、4月初めよりオンラインによる教育環境整備に取り掛かりました。4月中にはオンライン上での全校生徒との個人面談を終え、5月からはオンライン用のまったく新たなカリキュラムのもと、Zoomを利用した授業を本格的に開始しています。毎朝、担任がZoom上でホームルームを行った後、1コマ40分の授業を午前4コマ、午後1コマ、さらにはオンラインならではの新たなコミュニティ活動や部活動などを行っています。

6月からはオンライン授業と並行し、週に1回の分散登校やリフレクションテスト、一部リアルな部活動を開始するなど、完全再開に向けて、生徒たちも自らが課題克服の主体者となって「今自分たちができる」教育環境づくりに前向きに取り組んでいます。これらにより、本校では4月からの授業の遅れをほぼすべて取り戻すことができました。このように、本校ではこれからの情報化社会、および緊急時において必要なオンライン学習の環境整備を進めております。

(2020. 7. 7現在)



協働プレゼンテーション

The Study for Creative Intelligence 創造的思考力育成学習

本校では、総合的な学習の時間を、「創造的思考力育成学習(創学)」と名付けました。新しい大学入試を見据え、思考力・判断力・表現力を盛り込んだ「生きる力」を育むプログラムを用意しています。



● Will Tree 高1

「Will Tree」とは、人生を木に見立て、夢や目標を可視化する活動です。根の部分には、これまでの自分自身を形成しているもの、幹の部分には自分が高校生のうちにすべきこと、葉の部分には将来の夢を書きます。写真やペンを使い、自分の夢と向き合いながら丁寧に作品を仕上げていきます。

● Quest Education 高2



● Quest Education 高2

「教育と探求社」による教育プログラム「Quest Education」を活用し、実際の企業の職業内容を知り、職業観を育てるとともに、プレゼンテーション能力を高めます。(企業例「エイチ・アイ・エス」「メニコン」「無印良品」など)

Presentation



● World Innovation 高3

1・2年次の集大成となる活動です。社会に対する自らの課題意識に気づき、それを改善するための案をチームで考えます。「他者に自分の考えを伝える」ことに重点を置き、1・2年から培ってきたプレゼンテーション力をさらに高めていきます。



「創学」の 実施

自分らしく、全員主役。

「行事」で躍動！

4月 ●入学式
●フレッシュマンキャンプ(1年)
●模擬試験
●保護者会(2・3年)

5月 ●球技大会
●1学期中間試験
●保護者会(1年)

6月 ●体育祭
●三者面談

7月 ●1学期期末試験
●模擬試験
●芸術鑑賞会

8月 ●夏期講習

9月 ●創英祭

10月 ●2学期中間試験
●模擬試験

11月 ●保護者会

12月 ●海外研修旅行(2年)
●2学期期末試験
●冬期講習

1月 ●共通テストプレテスト(3年)
●模擬試験

2月 ●合唱コンクール(1年)

3月 ●学年末試験
●卒業式



●自分を表現する 合唱コンクール

高校1年生の締めくくりとなる行事です。実行委員の生徒たちの企画・運営で実施されます。指揮者・伴奏者・クラスー丸となって練習し、ハーモニーを高めます。

●創造性を養う 体育祭・創英祭

体育祭は、中学1年生から高校3年生までの6学年・全クラスを4色に分けて、初日は予行と予選、2日目に本番をそれぞれ行います。リレー、綱引き、棒倒し、騎馬戦、応援合戦など、とても白熱します。創英生が大好きな行事の一つです。

文化祭である「創英祭」は2日間行われます。2日間で8000名以上の来場者を記録し、大変な賑わいを見せます。各クラスの催し物のほかにグラウンドでは飲食の模擬店が開かれ、体育館ではダンス部、吹奏楽部やパフォーマンスが見られ、創英生が最も輝く行事の一つです。



School Life

「部活」で活躍！

＜サッカー部＞

＜ダンス部＞

＜ハンドボール部＞

＜軽音楽部＞

＜卓球部＞

＜放送部＞

＜音楽部＞

＜ソフトテニス部＞

＜調理部＞

＜児童文化部＞

＜吹奏楽部＞

インターハイ
2回出場の実績！

男子・女子

- 卓球部 ●バスケットボール部 ●ソフトテニス部 ●ダンス部 ●ワンダーフォーゲル部 ●バドミントン部 ●ハンドボール部 ●剣道部 ●バトン部(BRIGHTS)
- バレーボール部 ●サッカー部

文化部

- 文芸部 ●園芸部 ●ESS ●イラスト部 ●造形アート部 ●手工芸部 ●調理部 ●音楽部 ●児童文化部 ●吹奏楽部 ●書道部 ●放送部 ●競技かるた部 ●茶道部 ●フォトアート部 ●将棋・囲碁部 ●科学部 ●軽音楽部 ●パソコン部 ●演劇同好会

全日本コンクール
金賞の実績！

新しい時代に活躍する人の育成

全員ホームステイで「世界」を体験する。

海外研修旅行(2年)

2年生は、12月に6日間の海外研修旅行に行きます。現在は、オーストラリアのシドニー、ブリスベン(ゴールドコースト)、メルボルンなどの複数都市から生徒自身が自分の興味に応じて選択しています。生徒1人1家庭のホームステイを体験します。12月の出発に向けて、1学期から現地の文化や慣習などを調べたり、日常英会話の勉強をしたりして、準備を進めます。



Student Voices

●高2の海外研修旅行がきっかけで、将来は国際的な仕事に就きたいと思うようになりました。一生忘れられない、本当に素晴らしい体験です。

●ステイ先のファミリーが親切で、私のつたない英語を聴き取ってくれようとしてくださいました。生きた英語を学ぶことができて、もっと英語を勉強したいと思います。

●期間：12月実施 5泊6日(現地3泊ホームステイ)
●場所：オーストラリア シドニー・ブリスベン・メルボルン

